

第一三共株式会社 品川研究開発センター

建物諸元(2019年12月現在)

所在 ————— 東京都品川区広町 1-2-58
主用途 ————— 研究所
敷地面積 ————— 64,339 m²
延床面積 ————— 122,646 m²
階数 ————— 地上 10 階ほか複数建物あり
竣工年月 ————— 2014 年 9 月ほか複数建物あり
管理会社 ————— 高砂丸誠エンジニアリングサービス(株)
URL ————— <https://www.daiichisankyo.co.jp/>

主な評価項目

I 一般管理事項

・社内の環境経営プログラムに沿って PDCA サイクルを実施して省エネルギー対策を推進している。

また、社内設置の環境連絡会・環境委員会等により従業員に省エネルギーについて啓発活動を展開している。

II 建物、設備性能に関する事項

・氷蓄熱設備、コージェネレーション設備の導入、昼光利用による照明制御高効率照明器具、高性能な建物外皮の導入

III 運用に関する事項

・エネルギーデータの分析、日常点検並びに維持運用管理の徹底による CO₂ の削減を実施している。

【事業所の概要】

品川研究開発センターは医薬品の研究開発を行う事業所である。各機能に合わせて複数の建物が稼働しており各々の建物の機能・特徴やその利用状況に合わせて様々な空調システムを利用している。

【事業所における環境負荷低減の取組】

自然エネルギーの活用
太陽光発電システム
昼光利用制御システムの導入

電気設備

LED 照明等高効率照明器具の採用
タスク&アンビエント照明
人感センサーによる照明の検知制御の導入
高効率変圧器の導入

空調設備

INV ターボ冷凍機を初めとする高効率冷凍機、ヒートポンプシステム、変風量システムや CO₂ 濃度による外気量制御の導入
コージェネレーションシステム、氷蓄熱システムの導入により、電力ピークシフトを実施

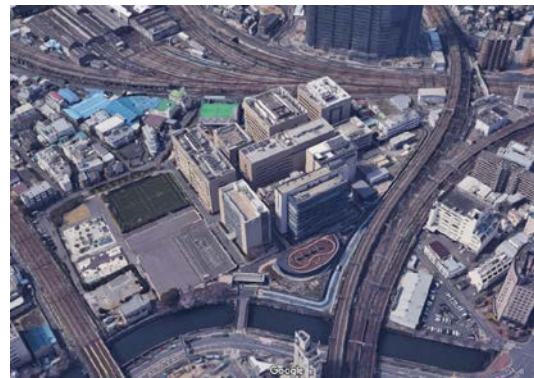
運用

コミッションングによる最適運転方法の検討、ビル監視システムを導入し、リアルタイムの監視・使用状況分析による設備の効率的運用を実施
毎月設備担当者間で安定稼働阻害要因や省エネルギーについてミーティングの実施

その他

新築の建物についてはカーボンハーフを目指し、太陽光・自然光の自然エネルギーを活用し、遮熱効果の高い Low-E 複層ガラス、LED 照明等の高力率設備を導入、屋上緑化を実施

【事業所外観写真】



コージェネレーションシステム



屋上緑化

